

環境施設見学研修と今後の課題

今回、私たちが生活していく上で必要不可欠な水を供給する浄水場、家庭から出る下水の処理施設、ゴミを処理する清掃センターの3か所を見学し、それぞれ処理量の多さと、それに伴う莫大な処理費用に改めて驚きました。「自分一人ぐらい…」「このぐらいの手抜きは…」と思う気持ちの積み重ねがこの処理量と費用を引き上げているのだと思いました。

ちなみに、牛乳1本(200ml)を魚の住める水にするには、2ℓのペットボトルの水1600本分で薄めなくてはならないそうです。また、資源ごみとして家庭から出しているプラスチック類は清掃センターのラインで、異物、汚れているもの等を手作業で取り除いてから資源として業者に販売しているのですが、長野市から出る廃プラは、最低ランクの価格で引き取られているそうです。「無駄な水は使わない」「油、食べ残し等は下水道に流さない」「ごみは確実に分別して出す」施設を見学すると明確に実感します。

今回の体験をどのように区民の皆さんに周知するか、また多くの区民の皆さんにもこの施設見学に参加してもらえるかが課題であり、区長部で引き続き取り組んでいきます。

(区長部環境美化推進委員会)



下水処理施設 クリーンピア千曲



プラに混入した異物等を取り除く。次々と見つかる異物等で、作業員の両側の容器はいっぱい。

ご意見をお待ちしております！

～若槻の農業振興のビジョンを考える会～

「若槻の農業振興のビジョンを考える会」は、26年秋に区長部のプロジェクトチームとして立ち上げたもので、北澤支所長、清泉女学院大学の川北先生、中澤農業委員、坂上区代表委員を含む委員12人で構成し、若槻の農業の課題の発掘と地域でできる対策について検討・企画する役割を担っています。

会は、月約1回のペースで会議を開き、やれることから少しづつ実践に移そうと考え、活動しています。今年度は計画中・実施済のものを含めると下図のとおり企画しています。プロジェクトリーダーは、田子の板倉幸男です。

ご意見をお聞かせください。

問合せ先 事務局266-0034 花岡

「若槻の農業振興のビジョンを考える会」の企画 本プロジェクトが27年度に実施及び予定している主なイベント

農業ボランティア

- リンゴ栽培の技術を学びながら実践的な作業をする
- 学習の指導はプロジェクトメンバーが実施
- 剪定や消毒はオーナーが実施
- 作業報酬は無いが、収穫物の一部を分与する。
- 現在4人のボランティアが参加
- ボランティア募集中

露地販売

- 農作業中の畑で、道行く人を対象に農産物を現場で直販
- 「露地販売」をアピールする桃太郎旗を立ててアピール
- 旗はポール込で1本1,000円で販売
- 現在受付中



りんごまつり

- 11月1日(日) 10時~13時
- 上野の昭和の森公園 芝生広場で開催
- リンゴをテーマに老若男女が楽しむお祭り
- 企画は清泉女学院大学とコラボ
- 学生のダンスサークル発表や地域の人と学生が歌う舞台、クイズ大会、宝探し等
- 屋台やハロウィンコーナー
- リンゴの直売

農業講演会と坂上地域での車座集会

- これからの若槻農業の指針となるような講演会を企画
- 28年1月24日(日) 13:30を予定
- 講師、演題は未定
- 12月~2月にかけて各区単位にこれからの農業についての車座集会を開催

コミわかは農家と真剣な議論を望んでいます。
地区的活性化のため一緒に考え、行動しましょう。

市立若槻公民館 指定管理者内定！！

10月9日付で市立若槻公民館 指定管理者候補者として決定された旨の通知を受領しました。正式決定は12月議会の審議・議決を得てからということになります。

平成28年4月の管理運営開始に向けて、公民館指定管理者推進委員会を中心に十分な準備をし、より地区住民に寄り添った運営と多くの皆様が集える活気あふれた公民館づくりに向けて努力していくこととしています。

(事務局 花岡)

